

平成26年度 決算の概要をお知らせします

平成26年度一般会計・特別会計決算額の内訳をお知らせします。
各会計の決算書は、公文書館および市立図書館で閲覧できます。

問合せ 財政課財政係（内線2421～2426）

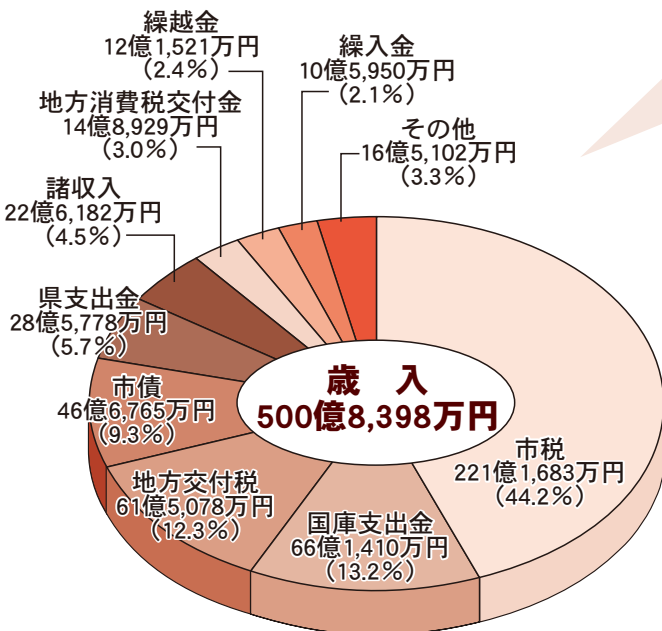
平成26年度一般会計決算は、歳入決算額が500億8,398万円、歳出決算額が478億9,284万円で、差引額は21億9,114万円でした。ここから平成27年度へ繰り越すべき財源 6億7,861万円を差し引いた実質収支額は15億1,253万円となりました。
※文章および表中の数値については、端数処理の関係により、合計が一致しない場合があります。

一般会計歳入 500億8,398万円

歳入の総額は、前年度比5.4%増（+25億5,211万円）となりました。

市税は、市民税の増（+1億4,989万円）、固定資産税の増（+3億8,039万円）などにより、前年度比2.6%の増（+5億5,702万円）となりました。

また、地方消費税交付金が21.7%の増（+2億6,570万円）、国庫支出金が17.1%の増（+9億6,351万円）、地方交付税が3.6%の増（+2億1,214万円）となった一方で、市債が15.9%の減（▲8億8,251万円）、寄附金が82.5%の減（▲8,712万円）となりました。



用語の解説（歳入）

市税

市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税など

国庫支出金

市の事業に対し、国から交付されたお金

地方交付税

所得税などの国税の中から交付されたお金

市債

国や金融機関などから借り入れたお金

県支出金

市の事業に対し、県から交付されたお金

諸収入

市貸付金の償還金、学校給食費など

地方消費税交付金

地方消費税から交付されたお金

繰越金

前年度から繰り越したお金

繰入金

基金（貯金）などから取り崩したお金など

その他

地方譲与税、財産収入、分担金および負担金など

平成26年度の主な財政指標

経常収支比率…財政の弾力性を示すもので、税金など経常一般財源に占める、人件費や公債費などの経常的な支出の割合を表すものです。

公債費負担比率…公債費がどの程度財政を圧迫しているかを示すもので、公債費に充当された一般財源の、一般財源総額に占める割合です。

財政力指数…標準的な行政活動を行う財源をどの程度自力で調達できるかを示した指標で、1を超えるほど財源に余裕があるとされます。

区分	平成26年度		平成25年度 実績値	対前年度 実績値比較	平成26年度 県平均
	実績値	目標値(※1)			
経常収支比率	91.7%	88.1%	91.0%	0.7%	92.1%
公債費負担比率	13.8%	14.0%	15.6%	▲1.8%	12.6% (※2)
財政力指数	0.87	—	0.87	0.00	0.77

※1 目標値については、久喜市行政改革大綱実施計画の数値目標です。

※2 公債費負担比率（平成26年度県平均）の値については、広報紙発行時点において公表されていないため、参考として平成25年度県平均の数値を掲載しています。